



発行所
 株式会社 花卉園芸新聞社
カキエンゲイシンブンシャ
 発行人 浅田 秀逸
 本社 〒460-0002
 名古屋市中区丸の内2-18-13
 TEL 052-201-5771
 FAX 052-201-6239
 東京支局 千代田区神田佐久間3-33
 TEL03-3864-3627 FAX3628
 © 花卉園芸新聞社 2005
 旬刊毎月5・15・25日発行
 年間購読料 8700円(税・送料)
 2年間購読 16200円(税・送料)
 郵便振替 00810-5-23015
 ニュースをお待ちしています
 TEL052-201-5771 編集部まで

情報・注文・発注を一括

花きネットセンター

首都圏版

市場の販売サポート目指す

花きネット(株)(本社・東京都港区、片桐良行社長)では、花きネット新サービス(首都圏版)プレス発表会を9月28日午後、東京全日空ホテルで開催した。

花きネットでは、花き業界電子商取引ネットワーク

として、中抜きや中間業者の排除型ECでなく、既存の流通を活かした参加者全員参加型のシステムを提供しており、業界共通のインフラ構築を目指している。

また、市場向けホームページ、市場買参人間取引、市場間取引、市場・産地データ交換

トフログなど豊富なコンテンツも提供し、花き業界のEビジネスを一挙統括サポートしている。

花きネットが従来から提供しているサービスには、市場買参人間取引、市場間取引、市場・産地データ交換

換、産地と市場連合間のオンラインシーム取引、仲卸・小売間仲卸取引システムなど取引に関するサービスがあり、今回新サービスとして、花きネットセンターの首都圏版が登場した。

花きネットセンター構想(首都圏版)は、花きネットセンターに生産者が出荷計画(品名・数量・価格)を提示し、加入市場がその情報を閲覧・注文。センターが注文を取りまとめ一括発注を行うというもので、既存の市場取引と計画販売を合わせることで市場の販売力の強化を目指す。

物流面では、生産者は花き取流、花きネットセンターに出荷し、花きネットセンターが



プレス発表で片桐社長あいさつ

荷受・管理・分荷を行い、注文市場がセンターから引

き取る流れ。

代金決済は決済機関を通じて、花きネットが10日おきに産地に支払いを代行。市場が花きネットに支払うのは10日締め翌10日払いとなる。産地はスピーディーに入金、市場は支払いへのスパンが長くなるメリットがある。

片桐社長は、「中堅市場の共同仕入れの仕組みとしてのシステム。協同組合ではないが、そのような気持ちで自覚を持って強く推進していきたい。電子商取引は中抜きの流れがあるが、市場存在を否定せず、花と

いう商品を合理的に流通させる。市場は花き流通に必要であり、それを持って進めていく。現在は首都圏限定だが、いずれ地域を拡大していきたい」とあいさつ。

システムは10月からテスト稼働が始まっており、企画部の中嶋貴也氏は「10月1日から取引が開始され、10月2日夜には初めての荷物が物流センターに入り始めました。徐々に産地と市場を増やし花き業界の支持を得ていきたいと思っております」と語っている。

【問い合わせ】花きネット(株) ☎03(5440)2920